



てんびん



johnx

てんびん

ぼくは 命をてんびんにかけている

毎日 でんしゃの線路を見つめ続け

死ぬ恐怖と闘いながら

まだ死ぬのが怖いと思ったら

瞼をぐっと

ぐっと閉じて

まだ「死ぬべきではない」

と息を切らせてないている

毎日 横断歩道をわたるとき

車がぼくに当たってくれるなら

それでもいいのだという錯覚を覚へて

死にたくないというわけのわからない名残と

生きることへの希望のなさを

てんびんにかけてながら

いつこの気持ちから解放されるのかと願いながら

今日もいのちをはかりつづけてひる